



責任ある
パフォーマンス

ゴア ファブリクス

レスポンシビリティ・アップデート 22

当資料は、W. L. Gore & Associates GmbHが作成した英文レポート「CORE FABRICS DIVISION RESPONSIBILITY UPDATE 2022」を日本語に翻訳再編集したものです。正式言語は英語であり、その内容及び解釈については英語が優先します。
英文レポート：<https://www.gore-tex.com/sites/default/files/docs/fabrics-2022-responsibility-update.pdf>



1958年から続く-

イノベーションの歴史

1958年に設立されたW. L. Gore & Associates(以下、ゴア)は、5大陸に12,800人以上のアソシエート(社員)を擁する材料科学のグローバル企業です。ファイバーやテキスタイルの開発、埋め込み型医療機器、排出量の削減や宇宙探査、他の複雑な課題を解決する製品を含む、幅広い業界の数多くの製品を手がけています。

ゴア ファブリクス・ディビジョン*は、多様な活動と状況に対応したアパレルやファブリクスを提供しています。アパレル、フットウェア、アクセサリーに加えて、ロープ、フィルター、アウトドア用ファブリクスなどの、テキスタイルに使用するファイバーも供給しています。

ファブリクス・ディビジョンの課題は、困難ではありますが、シンプルでもあります。それは、テキスタイルのパフォーマンスを損なわずにサステナビリティを高めることです。

今回のアップデートでは、この課題への取り組みの進捗状況を紹介します。進捗はいずれも、ファブリクス・ディビジョンがサステナビリティ戦略に沿って2022年(1~12月)に実施した1年間の活動に関わるものです。



*本文書ではファブリクス・ディビジョン、または、ディビジョンと呼ぶ場合もあります。

ゴアとファブリクス・ディビジョンについて

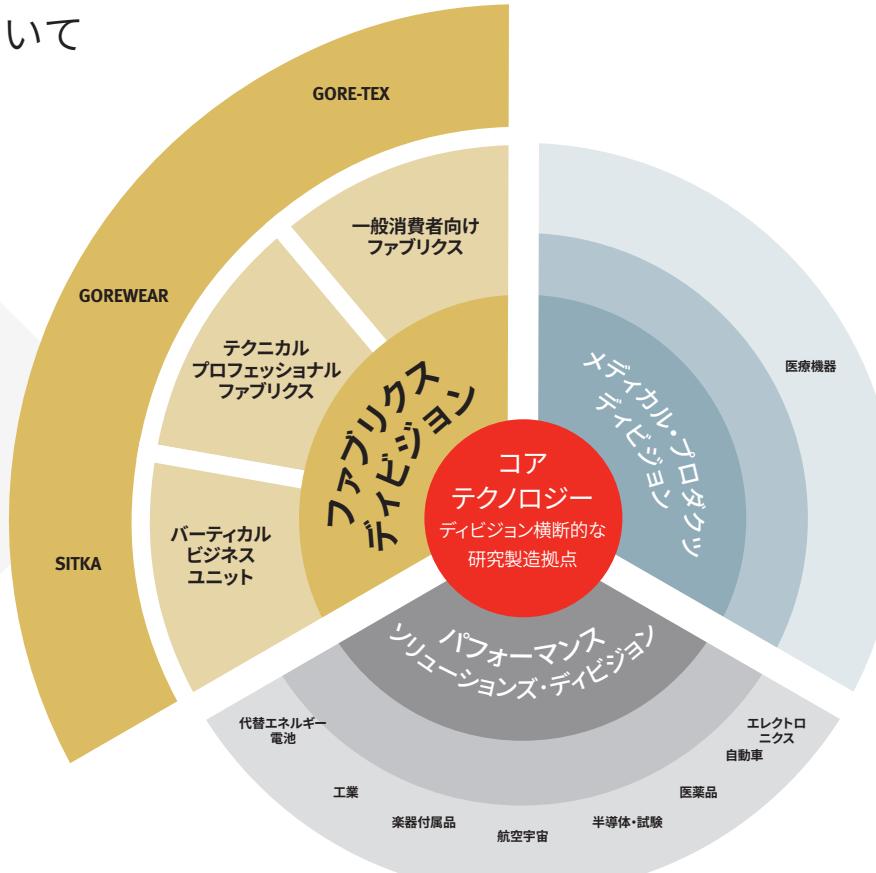
ゴアは創業以来、イノベーションと創造性を発揮できる、極めて協調的でインクルーシブな、チーム志向の職場環境作りに努めてきました。

どのディビジョンも、科学の力を活用して、私たちの世界が今日直面する重大な課題の解決に役立つ、専門的なソリューションを開発しています。エンタープライズには、メディカル・プロダクツ・ディビジョン、パフォーマンス・ソリューションズ・ディビジョン、ファブリクス・ディビジョンという3つの独立したディビジョンがあります。

アソシエートとして、また共同で責任を負うエンタープライズの担当者として、私たちは有意義なインパクトをもたらす決定を下す権限があります。私たちは、直接的なコミュニケーション、セルフコミットメント、従来の指揮命令系統にとらわれない結びつきを特徴とする「ラティス」型の組織構造に基づき仕事をしています。

右の図は、2022年末時点のゴアの組織構造を示しています。

サステナビリティとレスポンシビリティに関するゴアの取り組みについて、詳しくは「2022年エンタープライズ・サステナビリティ・アップデート」をご覧ください。



ゴアの4つの指針となるプリンシプル(原則)

- ◆ フリーダム ◆ フェアネス
- ◆ コミットメント ◆ ウォーターライン

このプリンシプルを基盤として、私たちは、ゴアの創業者がすべての人に本来備わると考えていた能力を發揮します。そうすることで、私たち自身、アソシエート、エンタープライズ、カスタマーのために新たな可能性を生み出し、新境地を開拓し社会に貢献するイノベーションへの道を開きます。

ファブリクス・ディビジョン

目的に応じたパフォーマンス上の強みを生かして、過酷な環境や日常生活の中で快適性と防護性を実現する製品。



メディカル・プロダクツ・ディビジョン



パフォーマンス・ソリューションズ・ディビジョン



目次

ファブリクス・ディビジョンについて1

大胆なアスピレーション - ジャック・レネのメッセージ	3
2022年は転換の年 - シルケ・ケムマーリングのメッセージ	4
サステナビリティ戦略の紹介	6
責任あるパフォーマンスの戦略的な枠組み	7
サステナビリティの管理	8



人材 9

人々を守る	10
人材の採用、定着、エンゲージメント	11
サプライチェーンの適正な評価	15
検証済みHigg FSLM	16

地球 18

より良い成果を追求する	19
製品スチュワードシップと化学物質管理	20
温室効果ガス(GHG)排出量	21
環境安全衛生	24
評価、認証の状況、Higg Facility Environmental Module	26
Higg FEM検証済みスコア	27

製品 30

目的に基づいたパフォーマンス	31
イノベーション - 補完的素材プラットフォーム	32
目的に基づいたパフォーマンスのための行動 -	
GORE-TEX EXTRAGUARD	36
ゴアのサステナビリティ目標	37

大胆なアスピレーション



ファブリクス・ディビジョンは、不可能を可能にすることを目指しています。私たちは、人々が豊かに暮らし、コミュニティと地球が繁栄できる再生型の未来に向けて、世界のアパレル業界を先頭に立って導きたいと考えています。

私たちの取り組みを支えるのは、創業者の信念です。科学は世界を変えられる、人類の向上のために科学を活用すべきだというこの信念は、今も65年前と変わらず強固なもので。

私たちは日々、地球が直面する最大の課題である気候変動問題の解決に役立つことを目指しています。気候変動が、世界に与える影響だけでなく、そのインパクトに対し最も脆弱な人々に与える影響も解決したいと考えています。

世界をより良い場所にする上で、ファブリクス・ディビジョンの主たる役割は、サステナブルなテキスタイルのイノベーション - 製品、サービス、新たなビジネスモデルなど - にあります。

私たちは今、大きな変革の途上にあります。

低いフィットプリントと高いパフォーマンスで製品を差別化できる企業へと、急速に変わりつつあります。業界のエコシステムにおける独自の立ち位置を活用して、私たちは、アパレル業界が最終的に「投入、生産、廃棄」型のビジネスモデルから脱却し、製品の耐久性と循環性をオペレーションの基準にできるよ

うな、サービスおよびサプライネットワークの開発に努めています。

私たちは大胆なアスピレーションを掲げています。以降のページをお読みいただければ、現在までの成果を私たちが誇らしく思っていることがお分かりいただけるでしょう。一方で、特に環境への影響削減と成長のバランスの実現に取り組むなかで、まだ課題は山積みであることも認識しています。

今後の方向性について、すべての答えを手にしてはいません。ゴアには、グローバルな気候問題の解決に協力する、情熱的で献身的なアソシエートが参加するチームがあります。このチームのおかげで、私は今、これまで以上に未来に自信を持ち、人類の向上に寄与できると確信しています。

今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Jack Reine".

ジャック・レネ | ファブリクス・ディビジョン | ディビジョナル・リーダー



私たちのミッションは、現在および未来の世代のために、快適性、パフォーマンス、サステナビリティの限界を切り拓くことです。



2022年は転換の年

不穏な国際情勢にもかかわらず、2022年は、ゴアの責任あるパフォーマンスの歩みにとって転換の年になるでしょう。毎日のように自然災害が発生し、社会的紛争が人々に影響を与えコミュニティに損害を与えています。そんな中で、私は、気候変動は人類が直面する最大の課題であり、地球の回復、再生、成長のためにゴアのビジネスを活用しなければならないという思いを新たにしています。

ファブリクス・ディビジョンのサステナビリティリーダーに就任後1年間の、責任あるパフォーマンスの歩みにおける進捗をここに報告します。前例のない挑戦であるにもかかわらず、ゴアがこの取り組みを進めてきたことを誇りに思います。だからこそ、私たちは未来に希望を抱き楽観視しています。

今年、私たちの製品、プログラム、イニシアチブの多くが目に見えるインパクトを残し、ゴアの価値観を十分に体現するのに役立ちました。二酸化炭素削減、化学物質のフットプリント、社会的なコンプライアンス、製品の耐久性など、私たちのビジネスとオペレーションが最も大きなインパクトと影響力を与えられる分野に力を注ぎました。

私たちは、ゴアが関わる全ての人を支援しつつ、公正かつ倫理的にビジネスを行うという、長年掲げてきた信念を形にした「エンタープライズ人権ポリシー」を発表しました。現在、ポリシー

の詳しい実施計画を作成中であり、2023年にファブリクス・ディビジョン全体でこの計画を実施する予定です。この取り組みを通じて、上流サプライチェーン、ファブリクス・ディビジョンの製造工場、下流サプライチェーン、カスタマーの4つの主要分野を対象とする人権の適正な評価プログラムを強化しました。

カーボンニュートラルに向けたロードマップ案を作成し、ディビジョンおよび傘下のビジネスユニットの化石燃料使用量について、絶対的な年間目標を定めました。電力購入契約(PPA)および電力事業者との小売契約を通して、2025年までにゴアの全製造拠点で使用する電力を、100%再生可能電力に切替える取り組みを進めています。完全電動の新たな製造機器へのアップグレードも並行して行い、カーボンニュートラルな製造プロセスの実現に向けて、大きく前進しています。

シルケ・ケムマーリング(Dr.)

ファブリクス・ディビジョン

| グローバル・サステナビリティリーダー



66 二酸化炭素削減、化学物質のフットプリント、社会的なコンプライアンス、 製品の耐久性など、私たちのビジネスとオペレーションが最も大きなイン パクトと影響力を与えられる分野に力を注ぎました。 99

ゴア初となる延伸ポリエチレン(ePE)を使ったファブリクス用メンブレンである、新たなePEメンブレンテクノロジーの投入によって、補完的素材プラットフォームを拡充しました。

ePEメンブレンは、カーボンフットプリントを削減し、有機フッ素化合物(パー及びポリフルオロアルキル物質)を使用していないGORE-TEX テクノロジーを求めるカスタマーに、パフォーマンスの高いソリューションを提供します。この製品は好評を博し、多くの称賛を受け数々の賞に輝きました。

私たちは、バリューチェーンにおけるゴア独自の立ち位置を活用して、オペレーションの上流および下流の体系的变化も促しています。業界調査の実施や、太陽光発電事業者と提携した画期的なパイロット事業の立案など、過去に例のない協働を通して、ゴアのビジネスエコシステムを利用して、有意義なインパクトを実現しています。こうしたインパクトが、業界の内外にプラスの波及効果を及ぼすと信じています。

継続的な改善を軸に据えた材料科学のイノベーターとして、私たちは、絶えず変革を続けています。変革を進め再生型の未来へと業界を導く中で、なすべきことは多々あります。私たちが掲げる大胆なアスピレーションには、課題もありますが、以下に紹介する活動は、目標達成に向けた私たちのコミットメント、および目標を実現する能力を示すものだと信じています。

今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。



シルケ・ケムマーリング(Dr.)

ファブリクス・ディビジョン | グローバル・サステナビリティリーダー



サステナビリティ戦略の紹介



私たちの活動は、ファブリクス・ディビジョンのバリューチェーンに含まれる3つのテーマに分類できます。

Together, Improving Life

サステナビリティに対するゴアのフォーカスは、*Together, Improving Life*(共に、生活を向上させる)という私たちのプロミスを表現するものです。ゴア ファブリクス・ディビジョンは、責任あるパフォーマンスのプラットフォームを通してこのプロミスを実践しています。

責任あるパフォーマンス

ディビジョン全体の目標は、優先順位に応じてリソースを

配分して、オペレーションと私たちが製造する製品に、新たな次元のパフォーマンスとサステナビリティをもたらすことです。そのため私たちは、製品の耐久性向上と消費するリソースの削減の両立を通じて、人と地球に望ましい影響を生み出す特殊なファブリクスソリューションの開発に取り組んでいます。世界のアパレル業界のリーダーとして、私たには、今後のビジネスのあり方の改善につながるソリューションを見つける責任があると考えています。

1 人々を守る

すべての人々を守ることが、どのような製品を作り、どのように働くかということにおいて最も重要なことです。ゴアのレガシーの基盤は、ファミリーにあります。これが、フェアネス、インテグリティ、そして思いやりへのコミットメントにつながります。

2 より良い成果を追求する

持続可能なテキスタイルのソリューションを追求するため、科学に基づいて、包括的で有意義で革新的な成果を生み出すことに力を尽くします。これにより、地球にとって最大の効果をもたらすことができるのです。

3 目的に基づいたパフォーマンス

私たちは、確固たる目的に基づいて製品を作っています。製品にイノベーションをもたらし、進化させ続けながら永続的な価値を生み出し、耐久性に優れ、高いパフォーマンスを発揮できる製品と同じレベルでサステナビリティを取り入れる努力を行います。

責任あるパフォーマンスの
戦略的な枠組み

人々を守る

地球のために
より良い成果を
追求する

目的に基づいた
パフォーマンス

5つの
活動分野

人権の保護

カーボンフット
プリントの削減

ケミカルフット
プリントの
透明性ある管理

ウォーターフット
プリントの削減

循環経済の実現

活動がもたらす影響に基づいた行動の決定

継続的な改善
パフォーマンス、快適性、
サステナビリティの限界を乗り
越えるなかで、ビジネスの
あらゆる分野で継続的な改善
に取り組みます。

科学に基づく
科学とデータに基づいて
アプローチを行い、
総合的な影響を評価します。

全般的な視点
人、地球、製品のパフォーマンス
に影響を与える、システム全体
を改善するソリューションを
追求します。

協働
多様なパートナーと
緊密に協力し、業界全体の変化
を促すために共同で説明責任
を負います。

透明性
透明性ある形で進捗を示し、
まだ対応が必要な分野
について説明責任を負います。

サステナビリティの管理

ファブリクス・ディビジョンは、信頼できる関係性、健全なビジネスプラクティス、環境への配慮、意思決定の原動力となるコア・プリンシプル、そして顧客、サプライヤー、互いに対する深い責任感を通じて、インテグリティというゴアのレガシーを守っています。

ファブリクス・ディビジョン・リーダーが、サステナビリティに関わる目標や戦略を統括し、ディビジョナル・リーダーシップチームのメンバーが、個別のイニシアチブを担当します。

複数のサステナビリティ・チャンピオンによる連携的なネットワークを通じて、ファブリクス・ディビジョン全体の調整を図り、ファブリクス・ディビジョンのグローバル・サステナビリティリーダーが活動を統括します。一般消費者向けファブリクス、テクニカル・オリエンテッド・ファブリクス、バーティカルビジネスユニットの各組織に、サステナビリティ・チャンピオンが配置されています。

また、多くのファブリクス・ディビジョン・リーダーとアソシエートは、自身のパフォーマンス・アンド・デベロップメント・プランにサステナビリティ目標を明記しています。これによってディビジョン全体の説明責任が確保され、職務上の役割や個々の製品の目標に応じて、1人ひとりが優先順位を定められます。

ガバナンス

組織全体の活動を推進 – グラスルーツサステナビリティ・アソシエートネットワーク(GSAN)

ゴアのガバナンスは、全てのアソシエートが、*together, improve life*(共に、生活を向上させる) という共通の価値を実践し、責任感とオーナーシップを持って、自身の業務に関わる課題に直接取り組めるよう計画的に構築されています。グラスルーツサステナビリティ・アソシエート

ネットワーク(GSAN)は、ファブリクス・ディビジョン内に創設され、2022年のアースデイにグローバルなグループとして発足しました。以来、ゴアの全てのファンクションとリージョンで働く250人以上のアソシエートを束ねて、職場とコミュニティのサステナビリティを推進しています。



人々を守る

人々を守る	10
人材の採用、定着、エンゲージメント	11
サプライチェーンの適正な評価	15
検証済みHigg FSLM	16



人々を守る

すべての人々を守ることが、どのような製品を作り、どのように働くかということにおいて最も重要なのです。ゴアのレガシーの基盤は、ファミリーにあります。これが、フェアネス、インテグリティ、そして思いやりへのコミットメントにつながるのです。

公正で倫理的な方法でビジネスを行い、私たちが働き暮らすコミュニティをより良い場所にすることは、ゴアとファブリクス・ディビジョンにとって何より重要なことです。私たちは、ゴアのテキスタイル製品の製造に携わる労働者の生活を改善するために、バリューチェーンのパートナーと協力すべきだと考えています。

主要なトピックと目標



人材

人材の採用、定着、エンゲージメント

- ゴア・アソシエートエンゲージメント指標で、肯定的な回答を80%以上獲得する。

安全で健康的な職場

- Higg Facility Social & Labor Module (FSLM)を用いて、ファブリクス・ディビジョンの全製造拠点の労働安全衛生面のパフォーマンスを継続的に評価する。

サプライチェーンの適正な評価

- 2022年末までにゴアの人権ポリシーを策定する。
- 2022年末までにサプライヤー行動規範を策定し、直接サプライヤーと契約の調整を進める。

人材の採用、定着、エンゲージメント - ゴアの重要なフォーカス

目標達成状況

今年、ゴアのアソシエートエンゲージメント指標では**83%から肯定的な回答**が得られ、目標の80%を上回りました。他方でリーダーシップケイパビリティー指標では、肯定的な回答の割合は78%でした。

毎年匿名で実施されるグローバルなゴア・カルチャーサーベイの2022年の他の主な結果は、以下の通りです。

- アソシエートの約**88%**が、ゴアのポリシーと手続きが、健全で安全な職場環境を作り出していると**確信している**、と回答しました。
- アソシエートエンゲージメント指標では**83%から肯定的な回答が得られ**、目標の80%を上回りました。他方でリーダーシップケイパビリティー指標では、肯定的な回答の割合は78%でした。
- 97%**が、ゴアの製品に誇りを持っていると回答しました。

- 91%が、仕事とプライベートのバランスを柔軟にとれていると回答しました。
- 81%が、ゴアの未来は明ないと回答しました。
- 77%が、チームは業務の中で社会面、環境面のサステナビリティに配慮していると思うと回答しました。

ファブリクス・ディビジョンのアソシエートを含め、世界のゴア・アソシエートのうち86%が2022年の調査に回答しました。

人材の定着と採用の推進

ゴアは2022年、性別、民族、地理的な多様性に重点をおいて、採用活動の主な舞台となるパートナー大学のネットワークを拡大しました。学生や、多様性、公正、インクルージョンの推進に取り組む専門団体に対するエンゲージメントも強化しました。

[人材採用、定着、エンゲージメントに関するゴアの取り組みについて、詳しくは「2022年エンタープライズ・サステナビリティ・アップデート」をご覧ください。](#)



関連する目標

88%

アソシエートの88%が、
ゴアのポリシーと手続きが、
健全で安全な職場環境を作り出
ていると思うと回答しました。

97%

97%が、ゴアの製品に
誇りを持っていると
回答しました。



こうした取り組みのひとつが、Camber Outdoorsと協力して実施しているメンターシップ・プログラムです。このプログラムでは、ファブリクス・ディビジョンのリーダーが、アメリカのアウトドア業界の多様な人材とペアを組みます。プログラムを通じて、未来のリーダーに、職場の多様性、公正、インクルージョンを実現しアウトドア業界を発展に導くための、スキルとベストプラクティスを身につけさせます。



エンタープライズ全体のグローバルな離職率(理由は問わず、アソシエートの退社と定義します)は、2021年の7.2%から6.6%へと改善しました。エンタープライズは、アソシエートの倫理行動基準(ASEC)の総合的な評価と改定にも着手し、差別禁止、ハラスマント禁止、報復禁止に関するグローバルポリシーを採用すると同時に、アメリカで製造以外を担当する全アソシエートを対象に、職場ハラスマント防止研修を導入しました。ファブリクス・ディビジョンのアソシエートの多くが、製造以外の業務に携わっています。2023年に向けて、研修の受講者をアメリカで製造業務につくアソシエートにまで拡大し、年内にはアメリカ国外のすべてのアソシエートを対象にグローバルに展開する予定です。

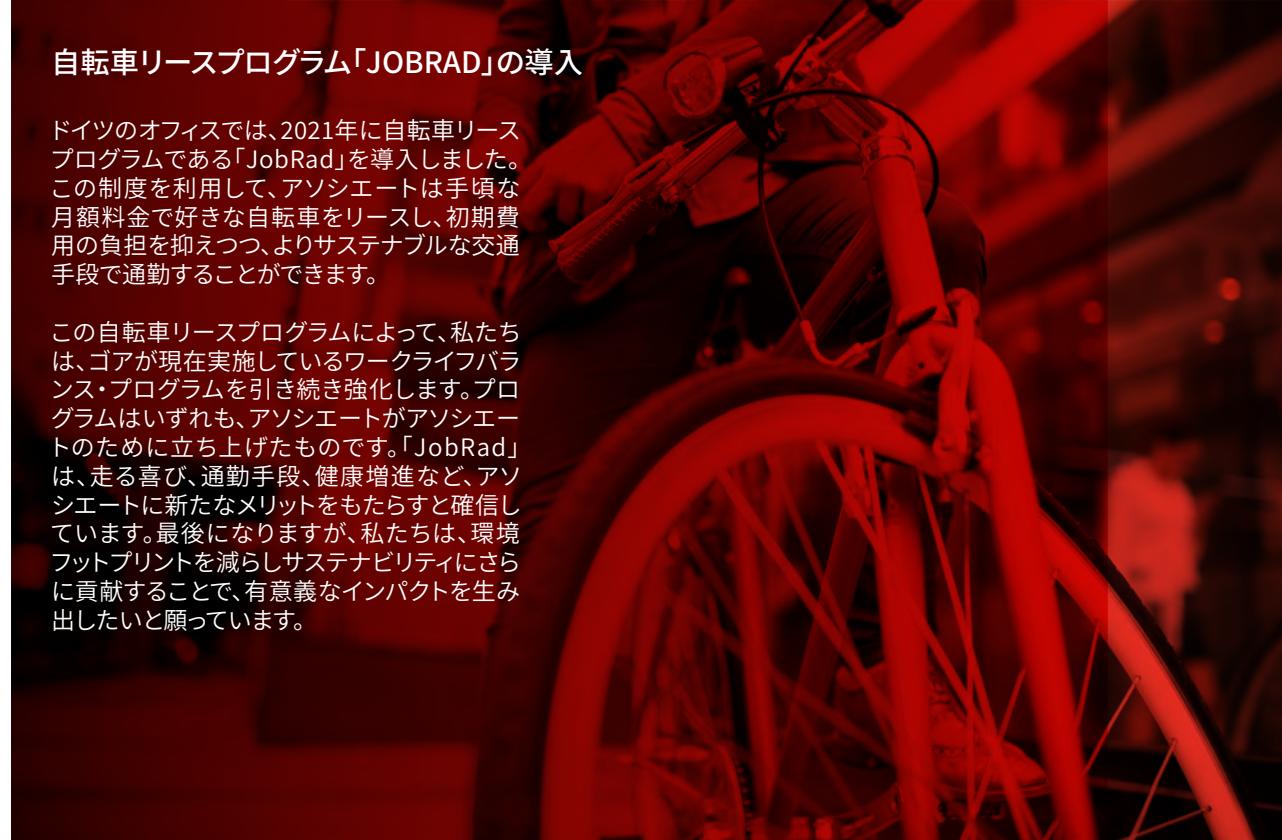


ハイライト

自転車リースプログラム「JOBRAD」の導入

ドイツのオフィスでは、2021年に自転車リースプログラムである「JobRad」を導入しました。この制度を利用して、アソシエートは手頃な月額料金で好きな自転車をリースし、初期費用の負担を抑えつつ、よりサステナブルな交通手段で通勤することができます。

この自転車リースプログラムによって、私たちは、ゴアが現在実施しているワークライフバランス・プログラムを引き続き強化します。プログラムはいずれも、アソシエートがアソシエートのために立ち上げたものです。「JobRad」は、走る喜び、通勤手段、健康増進など、アソシエートに新たなメリットをもたらすと確信しています。最後になりますが、私たちは、環境フットプリントを減らしサステナビリティにさらに貢献することで、有意義なインパクトを生み出したいと願っています。



数々のランキングに選出

ゴアの素晴らしいカルチャーが高い評価を獲得

イタリア(第4位)、フランス(第7位)、ドイツ(第10位)、イギリス(第24位)で「働きがいのある会社」に選出

アメリカ(第9位)とドイツ(第3位)で「製造業で最も働きがいのある会社」に選出

イギリスの働きがいのある会社研究所から「Center of Excellence in Wellbeing」賞を受賞

イタリアの働きがいのある会社研究所から「女性が働きやすい会社トップ20」に選出

『フォーブス』誌が発表する「女性が最も働きやすい会社」「最も多様性に優れた会社」に選出



[詳しくは「2022年エンタープライズ・サステナビリティ・アップデート」をご覧ください。](#)



責任ある採用

SITKA および GOREWEAR®は、アメリカアパレル・フットウェア協会が公正労働協会とともに発表した「アパレル・フットウェア産業の責任ある採用へのコミットメント」に参加しています。現在進めているこの取り組みは、ゴアが製品を調達する国々において、強制労働につながりかねない条件を廃止するため協力することを主眼としています。この取り組みを通じて、私たちは、次の条件の実現に向けて、ティア1にあたるガーメントのグローバルなサプライチェーン・パートナーと連携することを約束しています。

- 労働者は無報酬で働くかない。
- 労働者は速やかに雇用手数料の返金を受ける。
- 労働者はパスポートを自身で管理し、完全な移動の自由を確保される。
- 労働者は、母国を離れる前に、基本的な雇用条件について理解できる言語で説明を受ける。

世界のローカルコミュニティの支援

私たちは、世界のローカルコミュニティの支援に取り組み、ファブリクス・ディビジョンのアソシエートにとって最も有意義な団体をサポートしています。今年は、ウクライナの紛争を受けて、マムートとアウドドア・リサーチが販売するGORE-TEXジャケット25,000着を、ポーランドに逃れたウクライナ難民に寄付し、困難な時期に欠かせない防護性と保温性を提供しました。

SITKA

元海兵隊員のためにSITKAをカスタマイズ

私たちは2022年、SITKAアンバサダーのコール・クレイマー、SITKAの再生・修理スペシャリストのコリーン・トレッター、アフガニスタンで両足を失った元海兵隊偵察部隊狙撃兵のジョナサン・ブランクの3人を引き合させました。ジョナサンには、野外を探索したいという夢がありましたが、安全に活動できるギアが見つからず苦労していました。ゴアの製品開発担当やギア修理スペシャリストの協力を得て、ジョナサンは、圧倒的な快適性と有効性を実現するカスタムメイドの特別なソリューションを手に入れ、アラスカの山々に登頂できました。



サプライチェーンの適正な評価

ファブリクス・ディビジョンにいる私たちは、世界のアパレル業界は人権に関し高いリスクを抱えていることを理解しています。私たちは、ゴアのあらゆる活動の根底にあるフェアネス、インテグリティ、思いやりというコアバリュー（中核となる価値観）を実践し、これによって、サプライチェーン全体で労働者の心身の健康を守ろうとしています。

目標達成状況

2022年、ゴアはエンタープライズとしての総合的な人権ポリシーを発表しました。現在は、ポリシーの詳細な実施計画の策定を進めており、2023年にこの計画を実行する予定です。

ファブリクス・ディビジョンは2022年、エンタープライズと共にゴア・サプライヤー行動規範も策定しました。これは、サプライヤーに期待する労働基準を一層具体的に示したもので、ゴアの社会的責任に関するガイドライン（GSR）に取って代るもので

上流サプライチェーン（原材料）、下流サプライチェーン、ゴアの製造拠点において、カスタマーと共に労働者の心身の健康を確保するために、私たちは他にも次の活動を行っています。

上流

2022年、ファブリクス・ディビジョンはサプライチェーン・チームと共に、リスク評価、モニタリング、是正、継続的な改善に関する総合的な枠組みに投資しました。その一環として、透明性、モニタリング、是正に関する私たちの期待を伝えるために、サプライチェーンのサステナビリティ・ロードマップを改定しました。

下流

世界56カ国の600の認定工場で、ゴアのガーメントやフットウェアが完成品になります。5年以上前から、私たちは認定プロセスに人権の適正な評価を取り入れてきました。

2022年も引き続き、ガーメント工場やフットウェア工場と協力して施設の労働安全衛生面の状況を評価し、サプライヤーの原因分析を支援して、是正計画を立案し実施しました。2022年を通して、APACのガーメント業界の認定工場を対象とする定期的なモニタリングプログラムを継続しました。APACのガーメント業界の下流サプライチェーンは、人権侵害のリスクが極めて高いとされます。このサプライチェーンにおいて、ファブリクスは、100以上の重要な課題の特定と対処に協力しました。

一般消費者向けビジネス、GOREWEAR、SITKA GEARにおける サプライチェーンの適正な評価

ファブリクス・ディビジョンは今年、バーティカルビジネスユニットを対象とする品質コンプライアンス・マニュアルを発表しました。このマニュアルは、社会面、製品面のコンプライアンスに関する私たちの要求水準を定めた新たな契約を補足するものです。

ファブリクス・ディビジョンは、エンタープライズと連携したタスクフォースに参加し、人権リスクや環境への差し迫ったリスクを発見、防止、低減、除去するサプライチェーンの適正な評価プログラムを開発しました。この取り組みの一環として、私たちは、サプライチェーンの適正な評価、および近日施行されるドイツのサプライチェーンの適正な評価法の要件に関する、実践的なワークショップを開催しました。

関連する目標

600 | 56

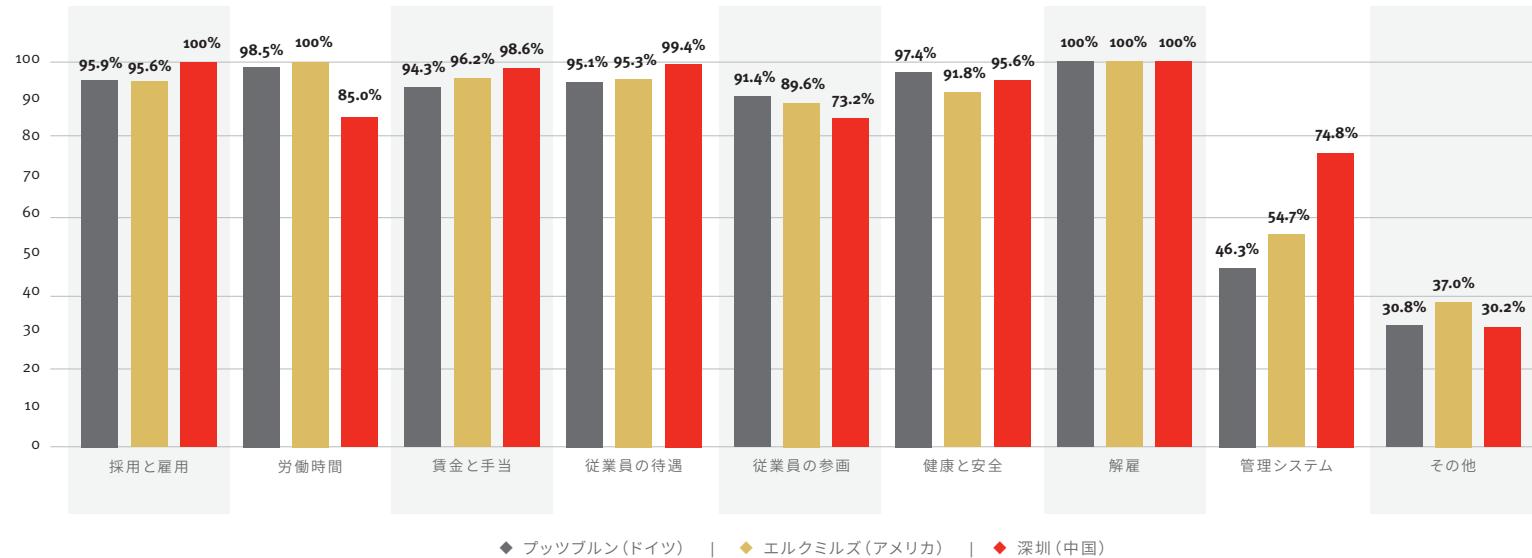
この6年間に、ファブリクス・ディビジョンは56カ国にある600の認定工場と協力し、各工場の労働安全衛生面の状況を評価してきました。

ゴアの製造拠点

ファブリクス・ディビジョンは、3つの製造拠点の労働安全衛生面のパフォーマンスを評価するために、Higg Facility Social & Labor Module (FSLM)の基盤となる労働環境基準統合プログラム (SLCP) の総合評価フレームワークを取り入れています。2022年には深圳工場が5回目のHigg FSLM検証を完了し、安全な労働環境の確保に対するファブリクスの継続的な取り組みを明確に示しました。

ファブリクス・ディビジョンの工場のHIGG FSLM検証済み総スコア

(2021年に報告、2022年に検証)



ディビジョンの計画

2023年に向けた ファブリクス ・ディビジョンの計画

ファブリクス・ディビジョンに所属するアソシエートを含め、調達を担当するアソシエート全員に対して、強制労働の防止に関する必須の研修を継続的に実施します。

ファブリクス・ディビジョンの工場の品質管理システムに、人権の適正な評価を取り入れます。

上流・下流サプライチェーンで定期的なリスク評価を実施します。

中小規模のカスタマーを対象に、人権教育を続けます。

下流サプライチェーンの労働環境の改善を続けます。

サプライヤーがサステナビリティ認証を獲得できるよう、研修を続けます(例:グローバル・リサイクルド・スタンダード)。

下流サプライチェーンに加えて、上流サプライチェーンのモニタリングを開始します。

人々を守るための行動

Bionic社とのパートナーシップを強化し、丈夫な繊維を開発

プラスチック廃棄物は、コスタリカのニコヤ半島などの沿岸部をはじめとして、グローバルサウスのコミュニティを深刻な脅威にさらしています。廃棄物管理のためのインフラが不足しているため、プラスチック汚染によってデリケートな生態系が損なわれ、生物多様性と地元の人々の生活が脅かされているのです。この課題を解決するために、エンタープライズとファブリクス・ディビジョンは、コスタリカのコミュニティおよびBionic社とパートナーシップを結びました。Bionic社は、海から回収したプラスチック廃棄物から高品質で追跡可能なテキスタイルや機能性ポリマーを製造する画期的な技術を持つ、マテリアルエンジニアリングに特化した企業です。

私たちは、戦略的パートナーシップを通じて有意義なインパクトの推進を目指すコミットメントに沿って、Bionic社と協力し、社会的な使命につながる新素材の開発の可能性を探るために、リサイクルエコシステムを開発し展開しました。

両社は精密工学に基づき、ポリマーのアップサイクルによってパフォーマンスに優れたテキスタイルと専用のソリューション

インパクト

BIONIC社とのパートナーシップを通じて回収した廃棄物

89,820 kg

プラスチック

51,704 kg

金属

605,474 kg

ガラス

15,397 kg

紙パック

を作り出し、使い捨てプラスチックの世界の海への流出の防止に寄与しました。沿岸部のコミュニティを巻き込んだこの協働の取り組みは、素材の開発のみにとどまりませんでした。技術的な知識、現地のコミットメント、サステナブルな生産が合わさることで、ニコヤ半島のプラスチック廃棄物から生まれたBionic社製のリサイクルヤーンを用いた、幅広いGORE-TEX ラミネート製品が誕生したのです。このプロジェクトを通して各社に共通する価値観や強みが浮き彫りになり、結果的にプラスチック汚染の削減と地元経済への投資につながりました。

2022年末までに、このイニシアチブによってプラスチック廃棄物 89,820 kg、金属 51,704 kg、ガラス 605,474 kg、紙パック 15,397 kg を回収しました。何より重要な点として、ローカルコミュニティへの雇用機会の創出を通じて、有意義なインパクトを生み出しました。サプライチェーンの需要も創出し、プラスチック廃棄物の埋立処分や海洋流出を防ぎながら、リサイクルエコシステムを発展させることができました。

現在、新たな地域への拡大も検討中であり、このイニシアチブは、プラスチック汚染を防ぐ連携的なイノベーションのモデルとなっています。



地球

より良い成果を 追求する

より良い成果を追求する.....	19
製品スチュワードシップと化学物質管理	20
温室効果ガス(GHG)排出量.....	21
環境安全衛生	24
評価、認証の状況、 Higg Facility Environmental Module	26
Higg FEM検証済みスコア	27

より良い成果を追求する

継続的な改善を追求するため、科学に基づいて、有意義で革新的な成果を生み出すことに力を尽くします。これにより、地球にとって最大の効果をもたらすことができるのであります。

ゴアが最も大きなインパクトと影響を与える分野で先頭に立ち、化学物質および水のフットプリントを透明性ある形で管理し、炭素削減に向けた懸命な努力によって気候変動の緩和に貢献することで、パフォーマンス・ファブリクス業界をリードしようと努めています。

主要なトピックと目標



製品スチュワードシップと化学物質管理

- 製品とオペレーションにおける化学物質と素材の責任ある安全な管理のために、正式なポリシーを採用する。
- 2025年までに、一般消費者向けファブリクスへの環境への影響に懸念のあるPFCの使用を廃止する。

温室効果ガス(GHG)排出量

- 2030年の目標達成に向けた一步として、2025年までにゴアのスコープ1および2の炭素排出量を50%削減する。
- 2030年までに、ゴアのスコープ1および2の絶対的炭素排出量を60%削減する。
- 2030年までに、ファブリクス・ディビジョンのスコープ3の炭素排出量を35%削減する。
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す(スコープ1および2の排出量)。

環境安全衛生

- ファブリクス・ディビジョンの全製造工場において、外部機関からISO 14001認証を取得する。

製品スチュワードシップと化学物質管理

エンタープライズとファブリクス・ディビジョンどちらにおいても、化学物質の責任ある管理は私たちのビジネスにとっても極めて重要です。

目標達成状況

2022年、私たちは製品・化学物質スチュワードシップ(PaCS)チームの主導によって、全ての製造拠点の安全性データシートを管理し、グローバルビジネスのトレーサビリティと透明性を高めるために、共通のグローバルツールの導入に着手しました。

業界基準への適合

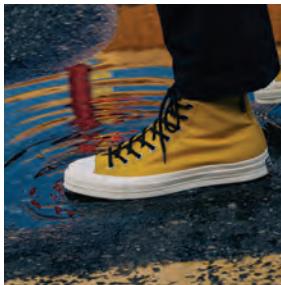
ファブリクス・ディビジョンは30年以上にわたり、いくつかの業界団体と協働で、サステナブルな業界を支持してきました。

ゴア ファブリクス・ディビジョンは引き続き、bluesign® や OEKO-TEX®などの業界基準に適合しています。

一般消費者向けファブリクスのビジネスでは、2022年の製品の総出荷量の90%以上がbluesign® 認証を、99%以上がOEKO-TEX STANDARD 100 認証を取得しています。

90%

2022年には、一般消費者向け製品の90%以上が
BLUESIGN® 認証を取得



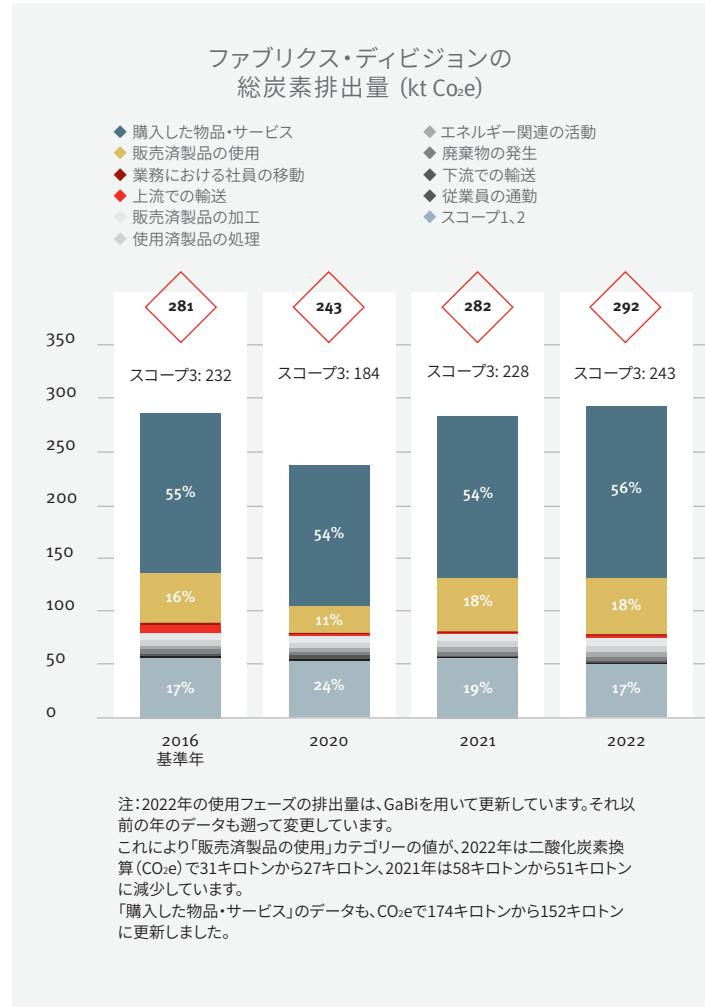
温室効果ガス(GHG)排出量

ゴア ファブリクス・ディビジョンは、業界全体の温室効果ガス排出量の削減に向けて、パフォーマンスアパレル業界における自分たちの位置づけを理解しています。

世界のアパレル業界が気候変動に与える影響について有意義な影響を与えることができるよう、私たちは、ディビジョン全体で業界リーダーとの協力に取り組んでいます。

カーボンフットプリントの削減は、ビジネス戦略とマテリアルイノベーションへの取り組み(スコープ3)だけでなく、工場のオペレーション(スコープ1および2)においても重要な要素であり、ファブリクス・ディビジョンの2030年の目標達成に向けて確かな道筋を示してくれます。私たちは規制を待つ代わりに、独自のバリューチェーン・パートナーシップとマテリアルイノベーションを積極的に追求し、カーボンフットプリントを大幅に削減しつつ、差別化の新たな可能性を引き出しています。

ゴアとファブリクス・ディビジョンは、環境スチュワードシップへのコミットメントに基づき、サプライチェーン全体の二酸化炭素排出量の削減に向けて意欲的な目標を定めました。ファブリクス・ディビジョンの排出量削減目標は、2016年の二酸化炭素換算(CO₂e) 280.2キロトンから、171キロトンまで減らすことです。スコープ1、2の排出量を2016年比で60%削減するというゴアの目標は、地球温暖化を摂氏1.5度に抑えるために必要な削減量と一致しています。二酸化炭素の絶対量を35%削減というスコープ3の目標は、地球温暖化を摂氏2度未満に抑えるために必要な削減量と一致しています。



目標達成状況

今年、ゴア ファブリクス・ディビジョンの1メートル当たりの排出量(原単位)は、2021年比で6%減少しましたが、製品の生産量は12%増加しました。

その結果、全体的なフットプリントが4%増加しました(CO₂eで282キロトンから292キロトンに増加)。

排出量が減ったこと自体は喜ばしいことですが、目標に近づいていないことは認識しています。とはいえ、今年はプロセスに大きな変更を加えたため、2025～30年には長期的に排出量を削減して、2030年および2050年の目標を達成できるでしょう。

2030年までの排出量削減目標

60% **35%**

スコープ1、2の
排出量を削減

スコープ3の
排出量を削減

オペレーションに関わる排出量の削減

組織の内外に変化を起こす上で、2022年は、私たちの二酸化炭素排出量削減に向けた取り組みの基盤となる年でした。カーボンニュートラルを目指すなかで、この年に、ディビジョンの今後の排出量削減のための土台が築かれました。まずは社内から出発し、私たちが直接管理できるスコープ1、2の排出量の削減に積極的に着手しました。2022年に、スコープ1および2を合わせた排出量が9.4%減少しました。

スコープ1を対象として、カーボンニュートラルに向けたロードマップ案を作成し、ディビジョンおよび傘下のビジネスユニットの化石燃料使用量について、絶対的な年間目標を定めました。年間の進捗状況がひと目で分かるようにするために、エンタープライズとディビジョンのリーダーシップが、ディビジョンの排出量削減の進捗をリアルタイムで確認できる、カーボンダッシュボードを作成しました。加えて、今ではファブリクス・ディビジョンのリーダーシップのパフォーマンス・アンド・デベロップメント・プランに、排出量削減に関するKPIが盛り込まれています。生産能力の向上と施設の刷新を続けているため、今後、ファブリクスの新たなePEメンブレンを処理するために、完全電動設備を新設する予定です。これにより、化石燃料を用いた従来の製造施設の需要が減少するでしょう。並行して100%再生可能電力に移行することで、カーボンニュートラルな製造プロセスにさらに近づきつつあります。

スコープ2に関しては、電力購入契約(PPA)および電力事業者との小売契約の締結によって、グローバルな全製造拠点を2025年までに100%再生可能電力に移行するためのサポートを行うことができました。その結果、スコープ2の排出量を基準年(2016年)と比べて32%削減できました。

製造に関わる排出量の削減

2022年も、未使用原料から代替的なプロセスで作られた、カーボンフットプリントが少ないリサイクル原料への切り替えを続け、製品のカーボンフットプリントをさらに減らせる専用ソリューションを模索しました。具体的には、一般消費者向け製品に使用するリサイクル生地の割合をさらに8%増やし、重量、加工、素材の染色にイノベーションを導入しました。2022年には、ラミネート加工の変更を通じて、炭素排出量を年間200トン以上削減しました。

中国の深圳とドイツのツッブルン3にあるゴア ファブリクス工場は、ゴアの工場として初めてグローバル・リサイクルド・スタンダード(GRS)の認証を取得し、透明性をさらに高めるとともに、バイヤー、カスタマー、エンドユーザーとの信頼を築きました。GRSは、リサイクル含有量、社会および環境慣

行、化学物質の規制、加工流通工程の管理の第三者認証の要件を定める、製造工程全体に関わる国際的な自主基準です。

それ以外の例として、今年発売したGORE-TEX ソフトシェルジャケットでは、Higg MSIを用いて、サステナビリティと耐久性に重点を置いて、製品のフットプリントを最小限に抑える最善の方法を決定しています。リサイクル生地、編み工程、原液着色の使用によって、このラミネートは炭素排出量を54%、水消費量を64%削減しました。*

*この数値は、サステナブル・アパレル連合(SAC)が作成し2022年12月に更新された、Higg Materials Sustainability Index (Higg MSI)V3.5を用いて算出しました。ゴアが算出した値であり、未検証です。

ケンタッキー州に太陽光発電設備を設置し、毎年11万メガワットの再生可能電力を供給へ

ケンタッキー州グローバルクリークに太陽光発電設備を設置する電力購買契約(PPA)によって、ゴア最大の製造拠点に電力を供給する電力網に、新たに55メガワットの再生可能電力が供給されます。

この太陽光発電所の面積は320エーカーに及び、年間11万メガワットの再生可能電力を供給します。これは、6,000世帯以上をまかなえる電力であり、ゴアのカーボンフットプリントを約35,000トン削減するだけでなく、アメリカ東海岸にあるゴアの工場のエネルギー消費を100%カバーできることになります。

2024年春の稼働に向けて、順調に設置が進んでいます。



サプライチェーンの排出量削減

私たちは2022年、主なサプライヤーの脱炭素化を進めるためにヨーロッパの10のアウトドアブランドと協働しました。欧州アウトドア・グループのサプライチェーン脱炭素化プロジェクトの創設メンバーとして、ゴア ファブリクスは、サプライヤーを炭素削減の取り組みに巻き込むために、アウトドア業界のステークホルダーとの連携確立のための支援を行いました。

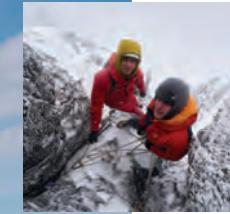
私たちの活動について、詳しくは29ページの[こちら](#)をご覧ください。

アウトドア産業協会(OIA)のクライメート・アクション・コープのメンバーとして、ゴア ファブリクスは、テキスタイルおよびアパレル業界の電化に関する業界初のフィージビリティ調査に協力しました。「テキスタイル業界の加熱技術の電化-中国、日本、台湾の技術的経済的分析」と題したこの調査は、電化技術により想定される節電効果、CO₂排出削減量、コストを検討し、生活の改善に向けた協力が生み出すインパクトを明らかにしました。



サプライチェーンの排出量削減

私たちは2022年、主なサプライヤーの脱炭素化を進めるためにヨーロッパの10のアウトドアブランドと協働しました。



環境安全衛生

ゴアの環境・労働安全衛生 (EOSH) ポリシーは、ISO 14001 および45001に適合し、水資源の保護や廃棄物管理を含めて、私たちが事業を展開する全ての分野の環境安全衛生基準を定めています。

目標達成状況

2022年現在、ファブリクス・ディビジョンの全工場がISO 14001認証を取得しています。さらに、ファブリクス・ディビジョンは、Higg Facility Environmental Moduleを利用して、環境パフォーマンスの継続的な改善を目指しています。過去1年間に、ファブリクス・ディビジョンの全施設がスコアを改善したことを、胸を張って報告いたします。

今年の他のハイライト

水管理

2021年の水消費量を評価した結果、エンタープライズの製造業務において水の使用は大きな割合を占めないものの、ファブリクス・ディビジョンでは重要な役割を果たしていることが分かりました。これは、私たちが水を用いた製造技術に頼っているためです。

そこで2022年、ゴアのEH&Sチームは総合的なグローバルな水資源保護基準を策定しました。この基準は、取水と排水に伴うリスクを評価し低減するためのプロトコルを定めています。ゴアは、全施設に対して、エンタープライズおよびローカルの両基準に従って、利用水量と排水量を測定し監視することを義務づけています。

廃棄物管理

廃棄物管理に関する高い基準を維持するために、全ての工場が、ゴアのグローバル廃棄物管理基準に記載された最低限のパフォーマンス要件を遵守しています。さらに、多くの拠点において、以下を含む様々なチェック・アンド・バランスの機能を確立しています。

- 保管エリア、廃棄物の分類、回収プロセスに関する定期的な内部点検
- ISO規格を遵守しているか第三者が監査を実施
- ゴアの拠点外に搬出された廃棄物が適切に処理されるよう、信頼できる廃棄物業者と提携

生態系の回復



100%

ファブリクス・ディビジョンの
全製造工場がISO 14001認証
を取得。

SITKAはこの1年間、生態系の状態と機能を改善し、教育やアクセスを通してハンティングを体験する場を増やし、連携により保全の機会を生み出すプロジェクトを対象に、40以上の団体に助成金を交付してきました。こうしたパートナーシップは、人間は自然の一部であり、大企業だけでなく熱意あるを中心とした草の根活動によっても、大きなインパクトを生み出せるという、SITKAの姿勢を示すものです。

拠点の環境パフォーマンスとサプライチェーンの透明性の継続的な改善

ファブリクス工場の環境パフォーマンスのモニタリングを実施してこれを理解し、サプライチェーンの透明性を高めることが、サステナビリティに向けた私たちの取り組みにおいて引き続き重要な要素です。Higg Facility Environmental Module (FEM)の検証が、この取り組みの肝となります。ファブリクス・ディビジョンは、2022年に、全工場の成果の中立的な検証を含めて、4回目のHigg FEM評価サイクルを終了しました。

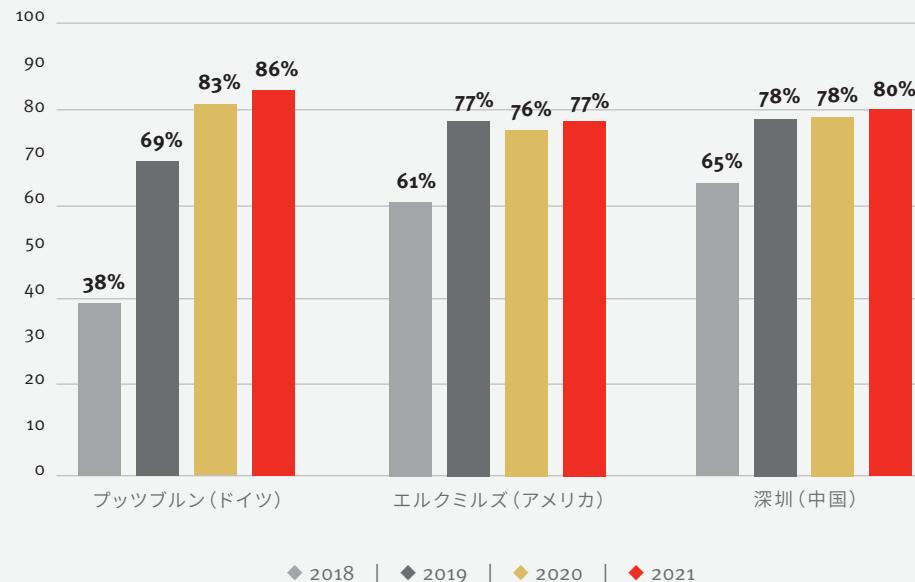
右のグラフが示すように、全製造拠点の環境パフォーマンスが昨年をやや上回りました。

私たちは、各拠点が今年達成した大きな進歩を、誇りに思う一方で、評価プロセスで改善の余地が明らかになった部分に関しては、なすべきことが多いと認識しています。

ファブリクス・ディビジョンは、Higg FEMを利用して、環境パフォーマンスの継続的な改善を目指しており、今後も透明性ある形で進捗状況を示していきます。

ゴア ファブリクスの製造全3拠点の最新のHigg FEM検証レポート(2020/2021) は、<https://www.gore-tex.com/sustainability/protect-the-planet/reduce-chemical-impacts> (英語) でご覧いただけます。

ファブリクス・ディビジョンの工場におけるHIGG FSEM検証済み総スコア
(2018、2019、2020、2021年に報告、2019、2020、2021、2022年に検証)



ゴア ファブリクス・ディビジョンの工場における評価と認証の状況



エルクミルズ(アメリカ)

- ISO 14001認証取得
- bluesign®システムパートナー
- Higg FEM 自己評価・検証済み
- Higg FSLM 自己評価・検証済み



ブツツブルン(ドイツ)

- ISO 14001認証取得
- bluesign®システムパートナー
- Higg FEM 自己評価・検証済み
- Higg FSLM 自己評価・検証済み
- GRS認証



深圳(中国)

- ISO 14001認証取得
- bluesign®システムパートナー
- Higg FEM 自己評価・検証済み
- Higg FSLM 自己評価・検証済み
- GRS認証



Sustainable
Apparel Coalition

The Higg Facility Environmental Module (FEM)

Higg FEMは、製造工場とブランドに、個々の施設の環境パフォーマンスの状態を知らせ、エネルギー・水消費量、大気への放出、化学物質の使用といったインパクトを評価し、サステナビリティ改善機会の特定とその優先順位付けを支援します。

Higg FEMは、Higg Facility Toolsのひとつに位置づけられます。Higg Facility Toolsは、サステナブル・アパレル連合(SAC)が促進する、業界全体で活用できる一連のツールであり、社会的・環境的影響を施設が自己評価できます。

この標準化された評価は、グローバルバリューチェーンのあらゆる層における社会的・環境的改善に向けた、バリューチェーンパートナー同士の議論を促します。詳細は、<https://apparelcoalition.org/higg-facility-tools/>(英語)でご覧いただけます。

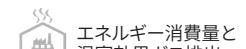
Higg FEMの評価対象



環境
マネジメントシステム



排水



エネルギー消費量と
温室効果ガス排出



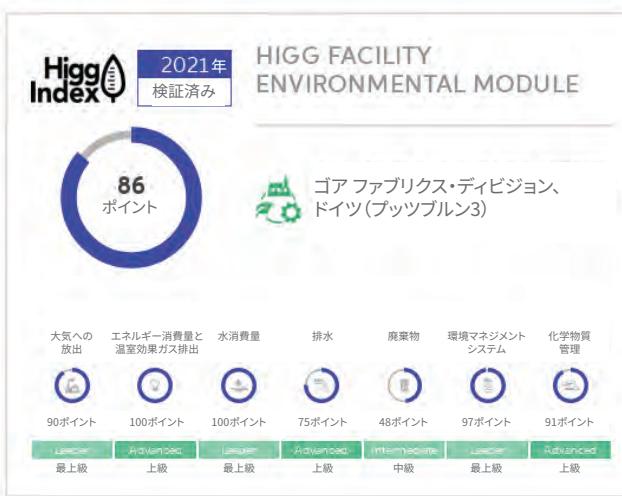
大気への放出



廃棄物



化学物質管理



大気への放出の項目では、冷媒が漏れて充填を行ったことがスコア減少の要因となりました。

化学物質管理の項目で新たに追加された研修の頻度に関する要件は、達成できませんでした。そのためにスコアがやや減少したのに加えて、化学物質の在庫データについてもいくつかの改善が必要になりました。検証期間中に、指摘された両分野を対象に是正措置を導入しました。

エネルギー消費量と温室効果ガス排出、排水、廃棄物、環境マネジメントシステムは、前年と同じ水準のスコアを獲得しました。

プツブルン工場は全体的に改善、 2021年に総スコアが3%上昇

最も大きく改善した分野は水消費量であり、スコアが75%から100%へと25%上昇しました。現在、プツブルン工場はこの分野でリーダーとみなされています。特に、レベル3に相当する取水量、利用水量、アウトプットの分析では、改善が見られました。検証の結果、水道メーターの計測、工程、取水・排水地点に関して、2021年に大きな改善が認められました。継続的な改善の途上にあるため、今後の取り組みでは排水地点・アウトプット地点へのサブメーターの設置の拡大に力を入れていきます。

1年間の熱心な取り組みにもかかわらず、大気への放出と化学物質管理の分野ではスコアがやや減少し、前年を3%下回りました。



エルクミルズ工場は2021年に総合的に安定した パフォーマンスを発揮、総スコアは1%上昇

大気への放出、エネルギー消費量と温室効果ガス排出、水消費量、排水、廃棄物、環境マネジメントシステムは、前年と同じ水準のスコアを獲得しました。2021年は、エネルギー消費量と温室効果ガス排出および大気への放出という2つの分野を特に重視しました。実施した取り組みによって、この報告年にHigg FEM検証のスコアを改善することはできませんでしたが、重要な両分野の改善に向けた長期的なプロセスとして、取り組み自体は極めて重要なものでした。

化学物質管理のスコアは、エルクミルズ工場で1%上昇しました。スコアが改善した要因は、レベル3の分野である化学物質サプライヤーとの協働の拡大にあり、1年を通して代替化学物質の特定と評価を確実に行いました。



深圳工場も総スコアが2%上昇

エネルギー消費量と温室効果ガス排出、廃棄物、化学物質管理の項目が、スコアを押し上げました。それ以外の項目である、大気への放出、水消費量、排水、環境マネジメントシステムは、前年と同じく安定したスコアを維持しました。

エネルギー消費量と温室効果ガス排出は2021年に10%上昇し、100%のスコアを達成して上級と認定されました。このスコアが改善した要因は、基準年である2016年と比べて、天然ガスと電力の消費量が減少したことでした（それぞれ3%、15%削減）。加えて、再生可能電力の比率も51%と大幅に増加しました。

2020年には、廃棄物の保管エリアに、改善が必要な問題点がいくつか指摘されました。一部については2021年に改善され、廃棄物の项目的スコアが5%上昇しました。有害廃棄物の保管には、望ましい改善が認められました。使用する保管容器の種類や、採用する分類システムに関して、この分野にはいくつか課題が残りました。廃棄物の项目的総合的なパフォーマンスは、依然として改善の余地がある分野となっています。

化学物質管理の分野は、スコアが2%上昇しました。スコアが上昇した要因は、Higg FEMガイドラインに従って、化学物質の保管場所が明確化されたためです。



より良い成果を追求する

サプライチェーンの脱炭素化プロジェクト

アパレルおよびフットウェア業界は、世界の年間二酸化炭素排出量の2~10%を占めると推定されています。この排出量の大部分は、ファッショナリテーラーのバリューチェーン、特にファブリクスの調達と販売用アパレルの製造に由来するものです。そのため、サプライチェーンに起因する二酸化炭素排出量を削減するための取り組みは、ゴア ファブリクスの重要な投資分野です。

ゴアの目標は、気候変動の緩和に寄与するため、パフォーマンスアパレル業界をリードすることです。そのためには、積極性が求められます。つまり、規制要件に従うだけでなく、私たちと共に価値観を持つ団体と協力して、炭素削減への取り組みを推進するのです。同業他社と同じく、私たちの総カーボンフットプリントの大部分(約60%)は、サプライチェーンに由来します。独力ではこの排出量を削減できないことも、理解しています。カーボンフットプリントに対処するには、協働が欠かせません。

そこで2022年、私たちは、欧州アウトドア・グループが進めるサプライチェーン脱炭素化プロジェクトの創設に携わりました。このグループには、ゴアと同じサプライヤーを使用している10のブランドが参加しました。

欧州アウトドア・グループは、約20の共通サプライヤーと協業し、サプライヤーのカーボンフットプリントの削減に向けて、アパレル・インパクト・インスティテュートが進めるカーボン・リーダーシップ・プログラムに資金援助を行いました。

このプログラムに参加したサプライヤーは、現在の排出量を把握し基準年のパフォーマンスを測定するだけでなく、世界の排出量削減に向けた取り組みへの貢献を保証する、科学に基づく目標も設定するために、支援を受けました。

この試験的プロジェクトは大きな成功を収めたため、今後、各ブランド傘下の欧州のサプライチェーン全体に展開していきます。サプライヤーとブランドによるこの協働的なパートナーシップを通じて起こした行動は、排出量の大幅な削減に向けた今後の枠組みを示すものです。



サプライチェーンの
脱炭素化プロジェクト



CARBON
REDUCTION
PROJECT

製品

目的に基づいた パフォーマンス

主要なトピックと目標	31
イノベーション	
- 補完的素材プラットフォーム	32
目的に基づいたパフォーマンスのための行動 -	
EXTRAGUARD	36
ゴアのサステナビリティ目標	37

目的に基づいたパフォーマンス

私たちちは、目的をもって
製品を製造しています。

私たちは、パフォーマンスに優れ、
最も必要な場面で人を守る製品を
実現するために、快適性、パフォー
マンス、サステナビリティの理想的
なバランスを追求し、その中で、常
に限界に挑戦しています。

ディビジョン全体を通して、継続的
にイノベーションを起こし、長期的
に確かな価値を実現するために
製品を改善し続けています。

主要な トピックと目標

パフォーマンス

イノベーション

- 一般消費者向けファブリクス用
の新たなメンブレンとして、延伸
ポリエチレン(ePE)を発売する。
- イノベーション・ポートフォリオ予測*として、
2024年の新製品売上において、環境サステ
ナビリティに関連するソリューションの比率
を15%、人間のウェルビーイングの維持・向
上に関連するソリューションの比率を34%に
高める。

* この予測は、ポートフォリオの変動により
変わる可能性があります。



イノベーション – 補完的素材プラットフォーム

ゴア ファブリクス・ディビジョンの目標は全てのガーメント、フットウェア、アクセサリーに、仕事と余暇で求められる防護性を提供するソリューションを実現することです。

そのため現在使用している主な素材は、ePTFE（延伸ポリテトラフルオロエチレン）、またはゴアの最新のメンブレンであるePEです。

どちらの製品も、カスタマーおよびエンドユーザーの以下の独自のニーズに対応しています。

- ePEメンブレンは、カスタマーがファブリクス・ディビジョンに求める防水性、防風性、透湿性、耐久性を実現するとともに、カーボンフットプリントを削減します。このメンブレンは延伸ポリエチレンから作られ、有機フッ素化合物（パー及びポリフルオロアルキル物質）を使用せずに製造されています。
- ePTFEは、一部の個人防護具に必要となる特殊な高い防護性を含め、あらゆる場面で高度な防護性を提供します。

私たちが長い年月をかけてePTFEの機能と用途を発展させてきたように、ePEテクノロジーや他の補完的素材の可能性も、私たちが快適性、パフォーマンス、サステナビリティの限界に挑むなかで広がっていくでしょう。

今後の数年間は移行期になりますが、2032年までには、補完的素材プラットフォームをファブリクス・ディビジョンに完全に定着させる予定です。

化学物質PFASに関して

様々な化学物質が有機フッ素化合物（パー及びポリフルオロアルキル物質）(PFAS)に分類されることを踏まえて、私たちは、全てのPFASが同じではないと指摘する必要性を感じています。このカテゴリーの化学物質は、その最終用途と同じくらい多種多様であり、このことがPFASを極めて複雑な話題にしています。科学に基づくイノベーションを追求する会社として、ゴアは、化学的および物理的な特性の明確な違いを科学的な視点で検討することが重要だと考えています。

ゴアは、多くのGORE-TEX プロダクトの基盤となる防水性、透湿性のある薄いメンブレンに、フッ素ポリマーであるePTFE（延伸ポリテトラフルオロエチレン）を使用しています。

PTFEは、「PFAS」の広義の定義に当てはまりますが、PTFEなどのフッ素ポリマーと、PFASという言葉と関連づけられる他の物質では、化学的、物理的な特性に大きな違いがあります。たとえばPTFEは不溶性で耐久性があり、極めて安定性が高い物質です。さらに、経済協力開発機構(OECD)による「低懸念ポリマー」の定義も満たしています。

PTFEのようなフッ素ポリマーは、さまざまな業界と幅広い最終用途に対してパフォーマンスの高い製品を可能にする、独自の特性を備えた貴重な物質です。



目標の達成状況

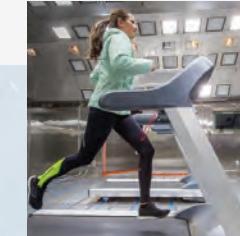
10年近く精力的に研究と開発を重ねた末、私たちは、2022年の秋及び冬に、画期的な延伸ポリエチレン(ePE)メンブレンを発売しました。このePEメンブレンを厳選された表生地や裏地などに接着すると、長期的な使用に適したGORE-TEXラミネートが形成されます。

ePEのベネフィット:

- カスタマーが求める防水性、防風性、透湿性、耐久性。
- 有機フッ素化合物(パー及びポリフルオロアルキル物質)を使用せずに製造した、ファブリクス・ディビジョンとして初めてのアパレル業界向けのメンブレン。
- 質量の減ったメンブレンが、Higg MSIに基づくカーボンフットプリントの削減に貢献。

新たなePEメンブレンの発売によって、2025年までに一般消費者向け製品の大部分から「環境への影響に懸念のあるPFC」を排除するという約束の実現に向けて前進しています。

ファブリクス・ディビジョンは、この目標の達成を目指し順調に進んでいます。



1

米国の雑誌
『Popular Science』で、
「2022年最優秀新製品賞」
(スポーツ・アウトドア部門)を
獲得。

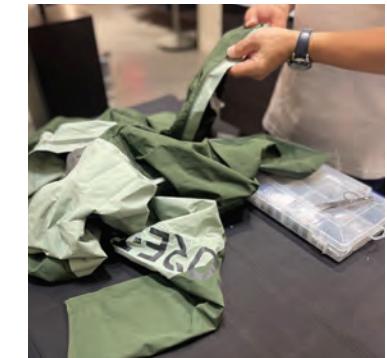
2

ePEを使用した、パタゴニア
社のストーム・シフト・ジャ
ケットとアントラックド・ビブ
が、ISPOによって
「今年の最も革新的な製品」
のひとつに選出。

ePEメンブレンを発売し、そのイノベーション
によって業界で高い評価を獲得しました。

タグによる環境負荷の軽減

ファブリクス・ディビジョンは2022年、アパレル、フットウェア、グローブ、アクセサリーの品質表示タグに、木材紙より環境負荷が低いさとうきびの茎を使用するプログラムを開始しました。2023年上半年期に、さとうきび由来の素材を使った品質表示タグを約2600万枚製造しました。



リサイクルした無染色糸、原液着色糸を製品に使用

一般消費者向けガーメントチームは、2022年に、サプライチェーンと協力して、リサイクルされた原液着色糸を開発し、ゴアとして最もデニール数が低いリサイクルファイバーを製造しました。

ゴアのリサイクルナイロンは、基本的に産業廃棄物を原料とし、リサイクルポリエステルは使用済みPETボトルを原料としています。

アウターウェア・オンデマンドの提供

ゴア ファブリクス・ディビジョンは、アパレル業界が、製品の耐久性と循環性をオペレーションの基準とするビジネスモデルを採用できるよう取り組んでいます。GORE-TEX ガーメントの快適性と防護性は気に入っているものの、「所有（オーナーシップ）」より「利用（ユーザーシップ）」を重視したいと考える、近年増えつつある環境意識の高い消費者のために、GORE-TEX アウターウェア・オンデマンドを開発しました。

ゴアのパートナーリゾートのみで利用できるこのプログラムでは、レンタル専用に開発されたGORE-TEXのジャケットとパンツを提供しており、GORE-TEXブランドが考案した、市販品にはないデザインや最新技術を採用しています。

2022年現在、北米の12のスキーリゾートでこのプログラムを利用でき、環境を意識する消費者だけでなく、スノースポーツを始めて間もない

人、身軽に旅行したい人、スキーは好きだけれど頻繁には来られない人にとって、理想的なサービスとなっています。こうした人は皆、年1回のスキー旅行に最新の防護性を求めています。

長く使う

製品の使用期間が長いほど、最終的な環境フットプリントは低くなります。ファブリクス・ディビジョンは、耐久性ある高品質な製品の製造にチームとして取り組んでいます。ガーメントの寿命を出来る限り伸ばせるよう、2022年にはヨーロッパ各地を訪ねて消費者と連絡をとり、大切に使われてきた古いGORE-TEX ガーメントを無料で修理しました。このパイロットプロジェクトは、ガーメントの正しい手入れの大切さを消費者に教えて啓発する、ソーシャルメディアのキャンペーンの支援を受けて実施されました。このキャンペーンは、視聴回数600万回を達成しました。

製品寿命を伸ばす取り組み

ファブリクス・ディビジョンのデザインの柱のひとつは、製造から製品の使用後までのフットプリントを考慮することです。アパレル業界の調査によると、製品のフットプリントの80%が製造・販売プロセスから生まれていると推定されます。このフットプリントを出来る限り減らすために、私たちは、製品の耐久性と寿命に注目しています。



ミッドスウェーデン大学スポーツ技術研究センターの積層造形・応用力学用素材試験ラボに設置された風洞

私たちは、協働を通じてインパクトを与え業界に変化をもたらす必要があると考え、2022年に、ゴアの製品と素材の寿命を伸ばす数々のイニシアチブに着手しました。このイニシアチブには、以下が含まれます。

- ミッドスウェーデン大学スポーツ技術研究センターおよびMISTRAスポーツ・アンド・アウトドア・プロジェクトと連携して、ガーメントの寿命を通じた製品の耐久性を測定する、誰もが利用できる業界基準を策定します。2023年に最初の結果が判明し、2025年にプロジェクトが完了します。
- ファッション・フォー・グッドと提携して、化学繊維のリサイクルがビジネスと地球に与えるプラスおよびマイナスの影響を探ります。

関連する成果

SITKA 修理再生センター

SITKA修理再生センターを発足させました。これにより私たちは、通常の摩耗や事故による損傷を妥当な費用で修理し、消費者が製品を長く使用できるようにしたいというブランドの信念とフォーカスを改めて確認しました。2022年には、センターで約2,000点のガーメントが再生されました。



写真提供:ファッション・フォー・グッド

目的あるパフォーマンスのための行動 - プロフェッショナル向けアパレルGORE-TEX EXTRAGUARD

ゴアは、革新的な特殊でサステナブルなファブリクスソリューションの開発におけるパイオニアとしての役割を担っています。私たちは、比類ないパフォーマンスを実現しつつ、二酸化炭素排出量や化学物質の使用量を削減する製造プロセスを用いています。責任あるパフォーマンスへの搖るぎないコミットメントに導かれて、私たちは、ゴアの目標の達成につながる素材の開発を主導することを目指しています。

EXTRAGUARDは、私たちが精密工学に基づきサステナビリティを重視していることを示す証です。レザーに代わるセーフティフットウェアのアップパー素材として採用される、クロム不使用の独自設計の生地を使った革新的な製品を開発しました。セーフティフットウェアでクロムを使用しないという化学物質使用の観点で先駆的であるだけでなく、水の消費を節減し、二酸化炭素排出量も最小限に抑えました。

EXTRAGUARDは、従来の素材と比べて製造に必要な化学物質も水消費量も少なく、二酸化炭素排出量も大幅に減少しました。レザーより40%軽量であるため*、ユーザーの快適性と実用性も高まりました。高品質で安定的に供給でき、受け取り時にあらためて品質検査をする必要がないため、プロセスが効率化し製造時の廃棄物も減りました。EXTRAGUARDは、高いパフォーマンスと確かな耐久性を維持しながら、セーフティフットウェアの環境負荷の軽減に重要な役割を果たしています。

*フルグレインレザーとの比較。厚みはDIN 53326に基づき算出しました。



ゴアのサステナビリティ目標

セクション	主要なトピック	目標	現在の状況	国連の持続可能な開発目標(SDGs)
目的あるイノベーション	イノベーション	<p>一般消費者向けファブリクスの新たな補完的素材プラットフォームとして、ファブリクス・ディビジョンが延伸ポリエチレン(ePE)を発売する。</p> <p>2024年の新製品売上において、環境サステナビリティに関するソリューションの比率を15%、人間のウェルビーイングの維持・向上に関するソリューションの比率を34%に高める。全体として、2031年までに総製品売上の80%を目指す。</p>	達成 進行中	
環境スチュワードシップ	製品スチュワードシップと化学物質管理	<p>製品とオペレーションにおける化学物質と素材の責任ある安全な管理のために、正式なポリシーを採用する。</p> <p>2025年までに、一般消費者向けファブリクスへの「環境への影響に懸念のあるPFC」の使用を廃止する。</p>	達成 進行中	
	温室効果ガス(GHG)排出量	<p>2030年の目標達成に向けた一歩として、2025年までにゴアのスコープ1および2の炭素排出量を50%削減する。</p> <p>2030年までに、ゴアのスコープ1および2の絶対的炭素排出量を60%削減する。</p> <p>2030年までに、ファブリクス・ディビジョンのスコープ3の炭素排出量を35%削減する。</p> <p>2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す(スコープ1および2の排出量)。</p>	進行中 進行中 進行中 進行中	
	環境安全衛生	<p>2025年度末までに、ゴアの全製造拠点に外部機関から ISO 14001 および ISO 45001認証を受けたEOSHマネジメントシステムを導入する。*</p>	進行中 (*ディビジョンをまたぐ製造拠点については、2026年度末までに)	
社会へのインパクトの拡大	人材の採用、定着、エンゲージメント	カルチャーサーベイのゴア・アソシエートエンゲージメント指標で、肯定的な回答を80%以上獲得する。	達成/継続中	
	安全で衛生的な職場	<p>2025年度末までに、ゴアの全製造拠点に外部機関から ISO 14001 および ISO 45001認証を受けたEOSHマネジメントシステムを導入する。*</p> <p>2023年のDART(休業、作業転換・制限を伴う傷病)率を、2022年比で5%改善する。</p> <p>DART傷病データの収集範囲を拡大し、2024年はAPAC/EMEAのパフォーマンスを把握する。</p>	進行中 (*ディビジョンをまたぐ製造拠点については、2026年度末までに) 進行中 進行中	
	サプライチェーンの適正な評価	<p>2022年末までにエンタープライズの人権ポリシーを策定する。*</p> <p>2022年末までにサプライヤー行動規範を策定し、直接サプライヤーと契約の調整を進める。*</p>	達成 (*2023年に導入完了) 達成/継続中 (*ハイリスクとされるサプライヤー全てと調整)	

W. L. Gore & Associates, Inc.
555 Paper Mill, P.O. Box 9329
Newark, DE 19714-9329 U.S.A.



レスポンシビリティ・アップデート について

このアップデートは、親会社であるW.L. Gore & Associates (ここではゴア、またはエンターブラインズと呼びます)の要求に従って、ゴア ファブリクス・ディビジョン(ここではファブリクス・ディビジョンと呼びます)のインパクトを示すことを目的としています。

このアップデートは、主なワークストリームを通じたファブリクス・ディビジョンのサステナビリティ目標の達成の進展状況を示し、ビジネスにとって重要な環境面、社会面の問題に対処するための活動を詳しく説明するものです。前述のように、データの大部分は Gore & Associatesを対象とするものであり、これにはファブリクス・ディビジョンのデータも含まれます。

アップデートの内容は、ファブリクス・ディビジョンがサステナビリティ戦略に沿って2022年(1~12月)に実施した1年間の活動に関するものです。

このアップデートは、外部機関の確認を受けていません。
全ての進捗は、会社として合意した目標とパフォーマンス指標との比較に基づき、透明性ある形で報告されたものです。



GORE、GORE-SELECT、GORE-TEX、Together, improving lifeおよび記載のデザイン(ロゴ)は、W. L. Gore & Associatesの商標です。© 2023 W. L. Gore & Associates, Inc. 他のすべての商標は、各権利者に帰属します。